

大災害時を想定した遠隔による 水中搜索支援システムの開発

研究の概要

大災害時の犠牲者の家族方々からは、「一刻も早く、行方不明の家族や持ち物を水中搜索して欲しい」という強い要望があるが、搜索が早くは進まない。

(問題点)放射能汚染等により、隊員が近付けない

(提案)水面局から遠隔操作可能なカメラを小型移動体に搭載し、水中で搜索支援するシステムを開発する。

開発を目指すコア技術

- ①水中との画像伝送システムの開発
- ②水中を遠隔操作で航行可能な小型移動体の構築
- ③ガイガー管や超音波レーダからのデータ取得

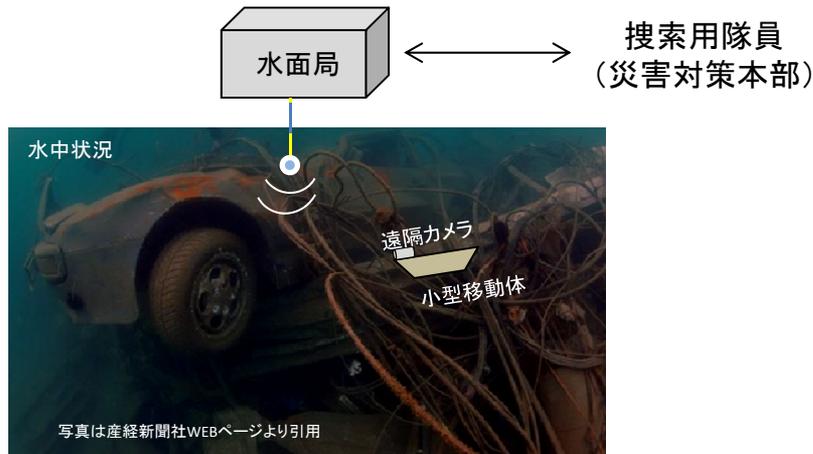


図1 水中に散乱した瓦礫の様子と水中搜索のイメージ

期待される効果

地上から遠隔カメラにより搜索が可能に！

小型移動体に積載した遠隔カメラにより、瓦礫散乱、搜索用小型船舶の航行困難、水中の視界不良時に潜水隊員への搜索支援が見込まれる。